

北薩感染症情報

2025年第18週(4月28日~5月4日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1

北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課

電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127

E-メール kita-kenkou-shippe@pref.kagoshima.lg.jp

川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎：警報発令中 ○：注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル		注意報レベル	川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始基準値	終息基準値	基準値	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報
		定点報告数												
急性呼吸器感染症(ARI) 定点	急性呼吸器感染症	-	-	-	105	99	33.00	↓	-	69	90	45.00	↗	-
	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0	10	8	2.67	↓	-	2	-	-	↓	-
	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)	-	-	-	11	2	0.67	↓	-	3	2	1.00	↓	-
小児科定点	RS	-	-	-	2	-	-	↓	-	4	3	3.00	↓	-
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	-	-	-	-	→	-	1	-	-	↓	-
	A群溶血性 レンザ球菌咽頭炎	8.0	4.0	-	9	8	4.00	↓	-	3	4	4.00	↗	-
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	-	41	27	13.50	↓	◎	6	6	6.00	→	-
	水痘	2.0	1.0	1.0	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	手足口病	5.0	2.0	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	伝染性紅斑	2.0	1.0	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	突発性発疹	-	-	-	-	-	-	→	-	1	1	1.00	→	-
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	-	-	-	-	→	-	1	-	-	↓	-
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-	
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	-	-	-	-	→	-	/	/	/	/	/
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	-	6	6	6.00	→	○	/	/	/	/	/
基幹定点	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに属する	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
指定医療機関からの インフルエンザ入院報告		-	-	-	-	-	/	→	-	-	-	/	→	-
指定医療機関からの COVID-19入院報告		-	-	-	-	-	/	→	-	1	/	↗	-	
報告数合計		-	-	-	185	150	/	↓	/	90	107	/	↗	/

<注意報・警報レベル>

- ・川薩保健所管内 感染性胃腸炎, 流行性角結膜炎(警報レベル)
- ・出水保健所管内 なし

<全数報告>

- ・川薩保健所管内 梅毒1例 百日咳 1例 追加 百日咳1例(第17週)
- ・出水保健所管内 追加 百日咳1例(第17週)

<インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等>

- ・川薩保健所管内 なし
- ・出水保健所管内 なし

疾病別各保健所定点当たり報告 直近10w分(男女合計)

警報発令中 注意報発令中

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	川薩保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)													
				9W	10W	11W	12W	13W	14W	15W	16W	17W	18W				
急性呼吸器 感染症(ARI) 定点	急性呼吸器感染症	—	—	—	—	—	—	—	—	—	51.00	35.33	35.00	33.00			
	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	2.00	2.57	1.86	1.00	3.29	1.57	0.33	2.67	3.33	2.67				
	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)	—	—	2.57	2.71	0.86	1.57	1.00	1.14	3.00	3.33	3.67	0.67				
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	—	0.75	1.00	0.75	0.75	1.50	1.00	0.50	1.00	—				
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	0.75	2.25	0.25	—	1.00	0.25	0.50	1.00	—	—				
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	1.00	1.00	2.00	2.00	2.00	2.25	0.50	3.50	4.50	4.00				
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	16.50	25.50	31.00	34.25	15.25	6.75	23.00	25.00	20.50	13.50				
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	0.50	0.25	0.25	0.25	—	—	—	0.50	—				
	手足口病	5.00/2.00	—	—	0.25	0.25	0.25	—	—	—	—	—	—				
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	0.25	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
	突発性発疹	—	—	—	—	—	—	0.25	—	0.50	—	—	—				
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
	流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.00/0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
	流行性角結膜炎	8.00/4.00	—	7.00	10.00	11.00	11.00	7.00	9.00	6.00	10.00	6.00	6.00				
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	1.00	—	—	—	—				
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	出水保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)													
				9W	10W	11W	12W	13W	14W	15W	16W	17W	18W				
急性呼吸器 感染症(ARI) 定点	急性呼吸器感染症	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.00	8.00	34.50	45.00			
	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	2.80	5.00	5.60	0.60	3.00	1.60	0.50	1.00	1.00	—				
	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)	—	—	3.20	2.00	2.40	3.00	2.00	1.20	1.00	3.50	1.50	1.00				
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	0.33	1.00	1.33	4.33	3.67	2.00	11.00	3.00	4.00	3.00				
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	—	1.00	0.33	0.33	1.00	1.00	—	—	1.00	—				
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	4.00	2.33	5.67	3.00	5.00	2.67	2.00	2.00	3.00	4.00				
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	7.67	7.00	5.33	6.00	6.00	4.00	7.00	9.00	6.00	6.00				
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	1.00	0.33	1.33	—	—	—	—	—	—				
	手足口病	5.00/2.00	—	0.33	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	2.67	3.33	2.33	0.67	2.00	1.00	1.00	1.00	—	—				
	突発性発疹	—	—	0.33	0.33	—	—	—	—	—	—	1.00	1.00				
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.00	—				
	流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				

※15週から指定医療機関数に変更になっております。

第18週において、川薩保健所管内では感染性胃腸炎、流行性角結膜炎が警報中です。インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等はありませんでした。

第16週報から引き続き、百日咳の報告がありました。症状が2~3ヶ月継続することが特徴で、飛沫や接触などによって感染が成立します。基本的な感染対策である手洗い、うがい、マスクなどを心がけましょう。

16週(4月14日～4月20日)に引き続き
百日咳の報告が増えています。

百日咳とは

百日咳菌 (*Bordetella pertussis*) の感染によって、特有のけいれん性の激しい咳発作 (痙咳発作) を特徴とする急性の気道感染症です。



症状は2～3ヶ月で回復すると言われていますが、乳児(特に新生児や乳児期早期)では重症になり、肺炎や脳症を合併することがあります。



感染経路

鼻咽頭や気道からの分泌物による飛沫感染や、感染者と接触したりすることによる感染(接触感染)とされています。

治療方法

生後6ヶ月以上は、抗菌薬による治療が検討されます。咳が激しい場合には咳止め等の対症療法が行われることがあります。

ワクチンについて

百日咳はワクチン予防可能疾患の一つに含まれます。5種混合ワクチン(DPT-IPV-Hib)等の接種が有効です。



しかし、ワクチンの免疫効果は4～12年で減弱し、最終接種後時間経過とともに既接種者も感染することがあるので注意が必要です。

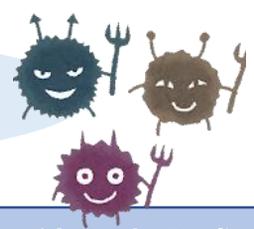
参考資料

[百日咳 | 厚生労働省 \(mhlw.go.jp\)](http://mhlw.go.jp)

[百日咳 | 国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト \(jihs.go.jp\)](http://jihs.go.jp)

[日本細菌学会 \(jsbac.org\)](http://jsbac.org)

梅毒について

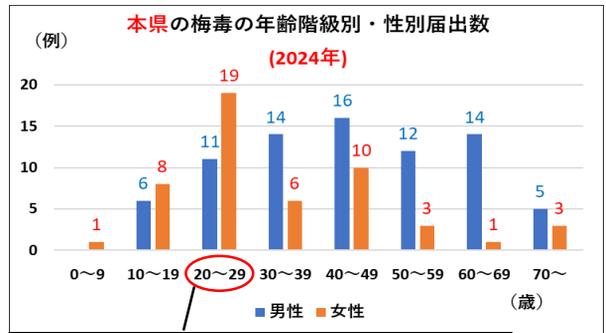


梅毒とは...?

梅毒とは *Treponema pallidum* subsp. *pallidum* を病原体とする感染症です。主な感染経路は性行為による粘膜を介した接触です。症状は全身に多彩な症状を引き起こし、進行すると神経障害や心血管障害を起こします。妊娠中に梅毒に感染していると胎盤を介して胎児が感染し、先天梅毒の原因となります。梅毒は症例数が多いこと、治療に有効な抗菌薬があること、適切な抗菌薬治療により母子感染を防ぎうることなどから、公衆衛生上重点的に対策をすべき疾患として位置付けられています。



出典: 鹿児島県環境保健センター 感染症発生動向調査委員会資料



2013年以降女性感染者が増加し、そのうち3/4が20~30代の若年層です。

先天梅毒とは

梅毒に罹患した母体から胎盤を介して胎児に感染することにより起こります。胎児では発育遅延や心奇形、小頭症、水頭症などを発症し、出生時では難聴、失明(網膜炎)、精神発達遅滞などを発症します。



治療方法

主にペニシリン系抗菌薬による治療が行われます。

梅毒を防ぐには?

性行為の際にはコンドームを使用するほか、梅毒が疑われる症状を呈した場合は、早期診断、早期治療、性的パートナーへの検査勧奨が重要です。

先天梅毒の予防では、妊婦健診におけるスクリーニング検査、早期検査、早期治療が重要である。



参考文献: 梅毒 | 国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト (jihs.go.jp)

梅毒 | 国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト (jihs.go.jp)

梅毒合併妊婦に対する治療と先天梅毒の現状 | 国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト (jihs.go.jp)